

山梨県立大学 人間福祉学部人間形成学科 3つの方針

理念と目的			
<p>高度な専門知識と技術、深い共感的理解、問題解決への知的探究心、協働できる力を持ち、乳幼児から高齢者まで誰もが人間らしく、その人らしさを発揮して生活できる地域社会づくりに主体的かつ実践的に貢献できる人材を育成します。</p>			
学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）			
育成する人物像	<p>人間形成学科では、高い使命感や責任感、倫理観のもと、高度な専門知識と技能、論理的な思考、創造的な表現、問題解決への知的探究心、協働できる力を持ち、全ての子どもが人間として尊重され、自己表現に向けて成長できる地域社会づくりに主体的かつ実践的に貢献できる人材を育成します。</p> <p>具体的には、以下の人物像を育成します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児期の発達段階における身体的・心理的な特性、多様な乳幼児の背景を把握し、幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領における保育内容のねらいと内容に基づいて養護と教育を一体的に展開する重要性を理解し、保護者や地域社会、多職種と協働しながら保育所や幼稚園の組織運営に主体的に関わることができる。</li> <li>・児童期の発達段階における身体的・心理的な特性、多様な児童の背景を把握し、小学校学習指導要領における各教科等の目標や指導内容、評価方法に基づいて学習指導と生徒指導を展開する重要性を理解し、保護者や地域社会、多職種と協働しながら学校運営に主体的に関わることができる。</li> <li>・乳幼児から児童期の発達段階における身体的・心理的な特性、障害や外国籍、貧困、被虐待等の背景を把握し、児童養護施設運営指針等の各種指針・ガイドラインにおける養育や支援の内容に基づいて支援計画策定の重要性を理解し、家庭や地域社会、多職種と協働しながら施設の組織運営に主体的に関わることができる。</li> </ul>		
	学修成果	測定方法	
① 専門知識活用力	知識・技能	<p>子どもの保育・教育・福祉に関する基本的な知識を体系的に理解し、保育・教育・福祉の専門的知識を修得したうえで、これらの知識を現代の諸課題と関連づけることができる。</p> <p>子どもの保育・教育・福祉の実践活動において、修得した技能（ICTを含む）を活用できる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カリキュラムマップにて示す「専門知識活用力」に係る科目の授業評価における学士力到達度及び授業評価アンケート、ポートフォリオによる自己評価</li> <li>・カリキュラムマップにて示す「専門知識活用力」に係る科目の成績評価</li> </ul>
② 技能活用力	思考力・判断力・表現力	<p>子どもの保育・教育・福祉に関する諸課題について、理論や事実に基づいて論理的、総合的に思考し、複数の解決策の結果を予測・判断したうえで適切に考えを表現できる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カリキュラムマップにて示す「技能活用力」に係る科目の授業評価における学士力到達度及び授業評価アンケート、ポートフォリオによる自己評価</li> <li>・カリキュラムマップにて示す「技能活用力」に係る科目の成績評価</li> </ul>
③ 論理的思考力	創造的表現力	<p>子どもの保育・教育・福祉の実践に関する自身の考えや感情、イメージについて、言語、身体、美術、音楽等を通して創造的で豊かに表現できる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カリキュラムマップにて示す「論理的思考力」に係る科目の授業評価における学士力到達度及び授業評価アンケート、ポートフォリオによる自己評価</li> <li>・カリキュラムマップにて示す「論理的思考力」に係る科目の成績評価</li> </ul>
④ 創造的表現力		<p>子どもや保護者、家庭を支援する専門職を志す者として、自己の目標と課題を明確にし、主体的に学び続けることができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カリキュラムマップにて示す「創造的表現力」に係る科目の授業評価における学士力到達度及び授業評価アンケート、ポートフォリオによる自己評価</li> <li>・カリキュラムマップにて示す「創造的表現力」に係る科目の成績評価</li> </ul>
⑤ 主体的学修力	主体性・多様性・協働性	<p>子どもや保護者、地域住民、同僚や他の専門職等の多様な人々と連携、協働するための社会性及び意思伝達と傾聴に関するコミュニケーション能力を身につけている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カリキュラムマップにて示す「自己学修力」に係る科目の授業評価における学士力到達度及び授業評価アンケート、ポートフォリオによる自己評価</li> <li>・カリキュラムマップにて示す「自己学修力」に係る科目の成績評価</li> </ul>
⑥ 人間関係形成力		<p>子どもや保護者、家庭を支援する専門職を志す者として、倫理観や使命感、責任感をもって、子どもの保育・教育・福祉の向上に貢献しようとする態度を身につけている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カリキュラムマップにて示す「人間関係形成力」に係る科目の授業評価における学士力到達度及び授業評価アンケート、ポートフォリオによる自己評価</li> <li>・カリキュラムマップにて示す「人間関係形成力」に係る科目の成績評価</li> </ul>
⑦ 専門職の態度			<ul style="list-style-type: none"> <li>・カリキュラムマップにて示す「専門職の態度」に係る科目の授業評価における学士力到達度及び授業評価アンケート、ポートフォリオによる自己評価</li> <li>・カリキュラムマップにて示す「専門職の態度」に係る科目の成績評価</li> </ul>
卒業判定基準	<p>人間形成学科では、本学の理念と目的に基づき、以下の『学士力』を身につけていると認められ、幼稚園教諭一種免許状又は小学校教諭一種免許状を取得した者に、学士（人間福祉学）の学位を授与する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 全学に共通する「学士基盤力」を身につけている。</li> <li>2. 人間形成学科における「学士専門力」を身につけている。</li> </ol>		
教育課程編成方針（カリキュラム・ポリシー）			
<p>人間形成学科では、子どもの保育・教育・福祉についての理解を深めたうえで、現代の諸課題を理論的、実践的な視点から考え、倫理観や使命感、責任感のある態度で多様な人々と協働しながら子どものウェルビーイングに貢献できる人材を育成するために、以下の3つの方針に基づいてカリキュラムを提供します。</p>			
<p>&lt;総合性に関する方針&gt;</p> <p>保育学や教育学という学問分野の学びを通じて、保育者や初等教育の教員養成を目的とした科目群を編成します。具体的には、全学共通科目と専門科目（導入教育、学部教養教育、専門基礎理解、分野別科目、発展科目、実習科目、卒業研究の科目群）を編成します。全学共通科目では、人間や社会に対する学問的探究、豊かな人間性を育成する科目を配置します。学部教養科目では、保育・教育・福祉を理解するうえで多角的な視点を身につけるための教養科目を設定します。専門基礎理解、分野別科目、発展科目、実習科目において、子どもの保育・教育・福祉を理解するための基礎を学修し、学生自身が自ら発展的に保育・教育・福祉の分野別に発展的に専門性を涵養できる教育課程を編成します。専門科目の多くは、幼稚園教諭一種免許、小学校教諭一種免許、保育士の資格取得に必修の科目から構成されます。多様な子どもと家庭について理解するために、幼稚園教諭一種免許、又は小学校教諭一種免許の必修科目の他に、社会的養護や子育て支援に関する科目を選択必修として配置します。大学における学修を基礎に、研究課題を自ら設定し、主体的・協働的に探究する総合力を身につけることを目的とした卒業研究の科目を設けます。</p>			
<p>&lt;順次性に関する方針&gt;</p> <p>1年次～2年次には、専門基礎理解の科目を中心に配置し、幼稚園教諭一種免許、小学校教諭一種免許に共通する教育の基礎を学修します。教育の基礎を形成したうえで、2年次～3年次に保育内容の指導、教科指導の修得を目指した分野別科目を配置します。発展科目については、3～4年次を中心に配置し、それまでの基礎的な学修を応用し、発展的に子どもの保育・教育・福祉についての内容を探究できるように編成します。また、1年次から実習科目を配置することで、実践現場における学修を通して、教職・保育職の専門職としての高い倫理観や使命感や責任感の涵養を目的とします。</p>			
<p>&lt;実施に関する方針&gt;</p> <p>教育課程編成方針に則り編成した科目については、ナンバリングやカリキュラムマップ、カリキュラムツリーにて総合性や順次性を明示します。各科目は講義、演習、実技、実習の授業形態にて実施し、学生が主体的・対話的で深い学びを実現できるような教育方法をとります。学修成果は、定期試験、レポート、授業中の小テストや発表などの平常点で評価することとし、その評価方法については、各科目のシラバスに示します。</p>			
入学者受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）			
<p>&lt;求める人物像&gt;</p> <p>子どもの保育・教育・福祉に関する知識・技能を活用し、現代の諸課題を理論的、実践的な視点から考え、倫理観や使命感、責任感のある態度で多様な人々と協働しながら子どものウェルビーイングに貢献する意欲のある人を求めています。そのため、以下の6点で入学前能力を評価します。</p>			
<p>&lt;入学前能力&gt;</p> <p>AP1：大学での学修の基盤となる基礎的学力を前提とし、子どもの保育・教育・福祉の学問を修めるためにも知識・技能を備えている。</p> <p>AP2：これまでの学修で身につけてきた知識・技能を活用し、情報を取捨選択し、子どもの保育・教育・福祉に関する課題を発見することができる。</p> <p>AP3：子どもの保育・教育・福祉に関する課題を解決するために必要とされる、事実に基づいた論理的思考・判断力、自身の考えを適切に表現する力を有している。</p> <p>AP4：子どもの保育・教育・福祉に関する自身の考えを自分の言葉で豊かに表現することができる。</p> <p>AP5：多様性を尊重しながら他者と対話し、協働しようとする態度を有している。</p> <p>AP6：自己理解に基づいて、子どもの保育・教育・福祉の専門職としてのキャリアをデザインし、目標と課題を明確にし、主体的に学ぶ意欲を有している。</p>			
<p>&lt;入学後能力&gt;</p> <p>人間形成学科入学後には、子どもの保育・教育・福祉の専門的知識を修得するとともに、実践活動において修得した技能を活用してください。また、子どもの保育・教育・福祉に関する諸課題について、理論や事実に基づいて理論的、総合的に思考し適切に表現する力を身につけ、自身の考えやイメージなどを創造的に豊かに表現する力を磨いてください。これらの能力を高めるため、自己の目標と課題を明確にし、多様な人々と関わり合いながら、主体的に学び続けてください。そして、保育・教育・福祉の専門職としての倫理観や使命感、責任感をもって、子どもの保育・教育・福祉の向上に貢献しようとする態度を身につけてください。</p>			
<p>&lt;評価方法&gt;</p> <p>入学選抜においては、多様な人材を選抜するため、一般選抜・学校推薦型選抜・総合型選抜・特別選抜（海外帰国生選抜・社会人選抜・外国人留学生選抜）・3年次編入学を実施します。各選抜においては、知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性・多様性・協働性を測定するために、学力試験、出願書類、小論文、面接により多角的・総合的に評価します。</p>			